

絶望

一九九七年五月下旬、パバロツティとカレーラス、ダイアナ・ロスの3大歌手競演が台北で開催される日の夕刻。事務所で残務を終えようとしていた六時前、珍しく父から電話が入った。「さつき、お医者さんから血液検査の結果を言われ、良くないことがわかったから今夜のオペラ公演はやめた。君も出来れば早く帰ってきて。」私が青ざめる前に切ってしまった手短な説明だったが、強がりとは違う父の強靱な声が今でも耳に残っている気がする。

それから一ヶ月経って、父は手術を受け回復できずに亡くなった。

自分の人生だけでなく、家族、同僚や同業者団体ないし自分が置かれた社会にひたすら取り組んできた前向きな人間がいざ死の脅威を感じると、普通どう反応するだろう。父は意外と脆いかもしれないとの先入観が最初の電話を取ったときからあった。九五年の軽度の脳出血で入院した頃から養生を心掛けてきたそうだが、癌と闘うとなると、余りにも突然な知らせだったせい、父が弱ってしまうのではないかと暗いイメージを描いてしまった。

弱音を吐かないだけに、其の分気が重苦しくなることもある。家族、同僚、友人に自分の不安や苦しみをぶつける習慣が無い人にとって、癌は見えない壁のように自分を更に包み込んでくる恐怖の存在みたいだった。

しかし、父ですらそんなに死が迫っているなんて予感は無さそうだった。一週間後の検査で癌が明らかになった日の深夜、父の一番親しい友人の林叔父様の自宅へ私と一緒に相談に行って対策を求め

た。林叔父様は父と三十年來の親友でお互い波長が合い、癌治療の相談とはいえ、「こいつは困ったな！」とか「あんたも大変だな」という調子で、落ち込まないよう元氣付けるアドバイスを冗談を交えながら掛けてくれる。親友の励ましを受け、父は苦笑しながらけろりと明るくなる。殆ど即座に手術による癌腫瘍の摘出を決めた。

振り返って考えれば、あのように超特急で手術を決意してしまったのが現代の所謂正統派の癌治療メソッドからすれば、一寸無茶に思えるが、明快な対処を好む父にしては、その選択を後悔しないはずだと息子として今尚推考している。

強がりのようではあるが、父の選択の正しさを繰り返し思い巡らしてきた。

癌と立ち向かって長期抗戦を続ける強靱さも偉いことだが、父の体力上の問題もあり、またまず性格上本人にとってそれは余りにも過酷なプロセスだと思う。いきなり癌腫瘍摘出を決意するのは早とちりの発想だと一部の専門家に責められるかも知れないが、ただ、そうでもしないと、既に八センチ程も肥大していた腫瘍自体の急速な拡張とそれに伴う移転がもたらす出血等の症状を食い止めるためには、外科手術が一番有効で且唯一の手段だとの確信を持って手術に臨んだのだ。ましては血管栓塞による療法は父の腫瘍の位置によって不可能だったし、やはり手術を急ぐ事にした。

癌がわかってから十日目の午前、入院を翌日に控える父は事務所幹部を集め、闘病宣言を気丈で厳正な口調で発表した。入院中は、息子の僕に所長代理権限を預ける趣旨を述べ、事務所全員の心配を労る雑談も交えていた。「暫く闘病生活に専念しますので、皆様の応援をお願いします。」相変わらずの潔い振る舞いに、颯爽とする父の風貌が一貫していた。

六月一日、手術の予定日。5時間ほど続いていた手術を待っていた間に待合室の天井に掛かってい

るテレビにフランスのミラージュ機の台湾空軍への交付式典の生中継が映っていた。曇天の晴れ間を翔けるミラージュ機の曲芸飛行実演に、華やかなフランス語のナレーションが響き渡るなか、その絢爛たる風景が暫く僕の強い不安を癒し、仮の安堵感を自分に与えた。無事に手術が終わって集中治療室で甦ってきた父は薄い笑みを見せ、母らに「僕はいつも強運だな。福将だ。」と好調を示した。

だが、術後三日目から肺の酸素吸入率が低下し、医師が気管支に吸入管の挿入を決行した。強い抵抗があったそうだが。以来、父の声は絶音となった。五日後、肺の感染が悪化、胸に穴を開け、気管支に直接酸素を供給した。一週間程経って、腎不全も起き、終に透析を始めた。管で雁字搦めになった父を集中治療室に預け、一日三回だけ見舞いに通った地獄の三週間が続いていた。

しかし、その強大な慈愛の息遣いは、ぼろけた身躯に依然と宿っていた。

息を引き取る二日程前に、まだ一抹の希望に縋って元氣ぶる僕と妻の美紀子が病室に向かった。生死を流離うはずの父は僕たちを見ると、極度の苦痛を胸に畳み、すぐに相好を崩さんばかりに笑みを浮かべ、声にもならないかすれた微音で、辛うじて唇で「ミキコ」と呼んで迎えてくれた。伏魔殿に化した集中治療病室に置かれ、自分は手足をベッドサイドの柵に縛られ、三週間も食事抜きで管ばかり絡まっているのに。しかし、最愛の母には、離別の切なさを凌ぐのが精いっぱい、最後の涙を見せたそうだが。

二十四時間後の夜九時頃に父は力を使い果たし他界した。